国際コミュニケーション学科

「海外留学」単位認定について

**科目名** 海外留学（400261）Study Abroad

**授業概要**

世界がグローバル化していく中、英語をはじめとする外国語の運用能力、また様々な価値観の並列する中で、互いを理解するためのセンスを磨くことがますます重要となっている。留学は、その中で実践的なコミュニ ケーション能力を習得し、国際感覚を身につけるという点において大きな教育的効果が期待できる。そのための事前学習の中では、留学に必要な行き先の言語の習得は勿論、それぞれの社会の持つ文化、習慣等の尊重など、異文化理解に関する基本的なルールを理解し、体得する必要がある。また留学後には、報告会開催やレポート提出などにより、学生それぞれが自の体験についての自己省察を深めてゆくための働きかけをする。

**成績評価**

当該留学先からの成績証明書、レポート等によって総合的に判断する。手順の詳細は後掲。

評価は「認定」となる。

認定対象となる「留学」は、3週間以上の留学・短期海外研修とする。

認定される単位数は、留学期間等によって決まる（後掲）。

認定される単位数は、通算で上限12単位まで。

**到達目標**

1. 留学先の大学で語学力を向上させる。
2. 海外での生活を通して、実践的なコミュニケーション能力を身につける。
3. 異文化理解に関する倫理的な要請を理解し、体得する。

**前提学力等**

留学先大学が求める語学力をクリアしていること。

## 「海外留学」履修要件

短期海外研修（3～8週間の語学研修）を除き、中期留学（3～6ヶ月間）、長期留学（9ヶ月～1年間）をして「海外留学」の単位認定を申請するには、留学に着手する前に各言語圏別に次頁に掲げる科目を履修していることを原則とする。

なお、この要件は「海外留学」履修の要件であって、この要件をクリアすれば必ず留学できるというものではない。留学をするには、希望する留学先大学が求める条件（TOEFLのスコアなど）をクリアする必要がある場合もある。

|  |  |
| --- | --- |
| 言語圏 | 履修が必要な科目 |
| 英語 | 英語Ⅰ、英語Ⅱ、英語Ⅱ、英語Ⅲ、英語Ⅳの4科目に加え、以下の5科目から3科目以上  リーディング（中級）、英語会話（中級）、リスニング(中級)、  ディベート＆ディスカッション、英語表現法 |
| ドイツ語 | ドイツ語ⅠA、ドイツ語ⅠB、ドイツ語ⅡA、ドイツ語ⅡB  ドイツ語コミュニケーションⅠA、ドイツ語コミュニケーションⅠB、  ドイツ語コミュニケーションⅡA、ドイツ語コミュニケーションⅡB、  ドイツ語コミュニケーションⅡC、ドイツ語コミュニケーションⅡD |
| フランス語 | フランス語ⅠA、フランス語ⅠB、フランス語ⅡA、フランス語ⅡB  フランス語コミュニケーションⅠA、フランス語コミュニケーションⅠB、  フランス語コミュニケーションⅡA、フランス語コミュニケーションⅡB、  フランス語コミュニケーションⅡC、フランス語コミュニケーションⅡD |
| 中国語 | 中国語ⅠA、中国語ⅠB、中国語ⅡA、中国語ⅡB  中国語コミュニケーションⅠA、中国語コミュニケーションⅠB、  中国語コミュニケーションⅡA、中国語コミュニケーションⅡB、  中国語コミュニケーションⅡC、中国語コミュニケーションⅡD |
| 朝鮮語 | 朝鮮語ⅠA、朝鮮語ⅠB、朝鮮語ⅡA、朝鮮語ⅡB  朝鮮語コミュニケーションⅠA、朝鮮語コミュニケーションⅠB、  朝鮮語コミュニケーションⅡA、朝鮮語コミュニケーションⅡB、  朝鮮語コミュニケーションⅡC、朝鮮語コミュニケーションⅡD |
| モンゴル語 | モンゴル語ⅠA、モンゴル語ⅠB、モンゴル語ⅡA、モンゴル語ⅡB  モンゴル語コミュニケーションⅠA、モンゴル語コミュニケーションⅠB、  モンゴル語コミュニケーションⅡA、モンゴル語コミュニケーションⅡB |

# 単位認定手順

　下記いずれの場合も、単位認定手続きそのものは帰国後に行うので、各学期の履修登録期間中に「海外留学」を履修登録する必要はない。

## 長期・中期留学

・出発の1週間前までに、**「海外留学計画書」（様式１）**を提出（提出先：学科長）

・留学中、1ヶ月毎に、以下の**ミニレポート**を提出　※ミニレポートについては後述

・帰国後2週間後までに、**「海外留学報告書」（様式２）**と留学中の成績証明書を提出（提出先：学科長）

（成績証明書の発行が間に合わない場合は、いつまでに提出可能かを報告し、発行後速やかに提出）

・単位認定は、上記「海外留学報告書」の提出を受けて、学科で審査し、留学していた学期（長期留学の場合は後半の学期）の単位として認定する。

・1学期ずつ異なる国に留学する場合は、それぞれの国への留学について「海外留学計画書」（様式1）・「海外留学報告書」（様式２）を提出すること。

## 短期海外研修

・出発の1週間前までに**「海外留学計画書」（様式１）**を提出（提出先：学科長）

・帰国後2週間後までに**「海外留学報告書」（様式２）**を提出（提出先：学科長）

・単位認定は、上記「海外留学報告書」の提出を受けて、学科で審査し、夏季休業期間中に短期海外研修した場合は前期の単位として、春季休業期間中に短期海外研修した場合は後期の単位として認定する。

# ミニレポート

海外留学中のミニレポートは「海外留学」として単位認定するために課すものなので、必ず出すこと。ミニレポートは、教員だけでなく同級生や後輩など学科内で共有していくので、その前提で書くこと。なお、このミニレポートは留学中のゼミ（基礎演習Ⅱや発展演習Ⅰ）の単位認定のためのレポートとは別。ゼミのレポートは、各ゼミの教員の指示に従って書くこと。

## テーマ

　留学先で発見したこと等について

※講義で学んだこと、課外活動のこと、街を歩いて発見したこと、旅行をすれば旅行先のことなど。

## 様式

　A4で一枚（１２００字）程度　MS-Word形式またはリッチテキスト形式で作成。

　横書。日本語または留学先の言語。

　名前と学籍番号を明記すること。

　写真を入れる場合、ファイルのサイズが大きくなりすぎないように注意すること。

## 提出頻度・期限

毎月1回、月末までに必ず提出すること。

## 提出方法

　メール（添付ファイル）で指導教員宛てに提出

# 認定される単位数

以下を目安とし、トータルの滞在期間、ミニレポート、計画書、報告書、成績証明書等を学科において総合的に判断し、認定する単位数を決定する。

## 長期留学

2セメスター（約12ヶ月）：12単位

3クォーター（約9ヶ月）：9単位

## 中期留学

1セメスターor２クォーター（約6ヶ月）：6単位

1クォーター（約3ヶ月）：3単位

## 短期海外研修

夏季休業期間中、春季休業期間中に外国の大学・語学学校等で語学研修をした場合に認定（旅行は対象外）。

6週間～8週間：2単位　　　　　　3週間～5週間：1単位

**※注意※**　留学先大学で取得した単位を滋賀県立大学の単位として認定or読替することと、この「海外留学」の単位認定は全く別であるので注意すること。留学先大学で取得した単位の認定or読替手続きは、帰国後に**国際化推進室**を通じて手続きを行う。

（様式１）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２０　　　年　　　月 　　日

海外留学計画書

人間文化学部　国際コミュニケーション学科

学籍番号

氏　　名

１．留学／研修先 国　名

機関名

２．留学／研修期間　　 　 年　　　月　　　日～ 　 年　　　月　　　日

３．留学／研修の目標および留学／研修中の学習計画

※プログラムの概要等が書かれた資料があれば、添付すること。

（様式２）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２０　　年　　月 　 日

海外留学報告書

人間文化学部　国際コミュニケーション学科

学籍番号

氏　　名

１．留学／研修先 国　名

機関名

２．留学／研修期間 　　 　 年　　　月　　　日～ 　 年　　　月　　　日

３．留学／研修中に受けたプログラムやコースの概要

※プログラムやコースの概要等について書かれた資料があれば、添付すること。

４．留学／研修の成果についての自己評価 ― 事前に立てた目標と学習計画に照らして